間仕切りフェンス
LIXIL（ハイスクリーンフェンスA型・B型・C型・D型）取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

● フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。

注意

● 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
● 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
● 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

注意

● 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。

＜基礎工事について＞

注意

● コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系混和剤をご使用ください。

■梱包明細表

1 主柱（T-12）

名　称	略　図	員数
主柱		1

2 端柱（T-12）

名　称	略　図	員数
端柱		1

3 主柱・端柱部品セット

名　称	略図	員数	
		主柱部品セット	端柱部品セット
上桟ジョイント		2	1
下桟ジョイント金具		2	1
柱キャップ		1	1
注意シール		1	1
クッション材 ※		2	1
3-① φ4X10トラスタッピンネジ3種 D=8		4	2
3-② φ4X10トラスタッピンネジ1種 D=8		5	3
取付説明書（C303）	―	―	1
取扱説明書（UC007）	―	―	1

※ 上桟カバーにガタつきがある場合に使用します。

4 フェンス

名　称	略　図	員数
フェンス本体		1

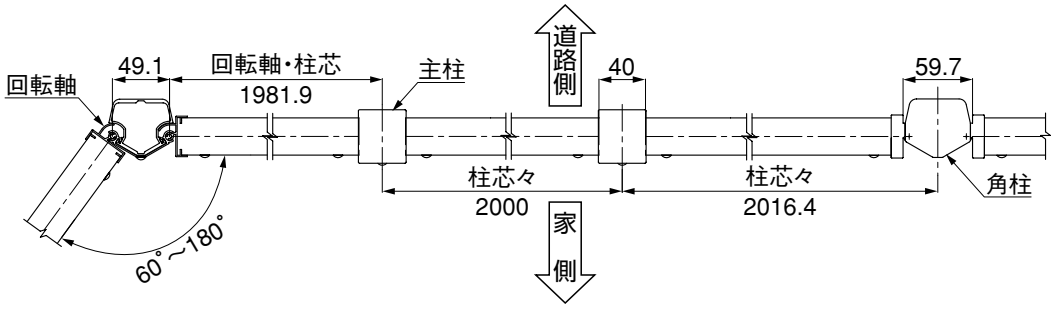
5 角柱（T-12）

名　称	略　図	員数
角柱		1

6 角柱部品セット

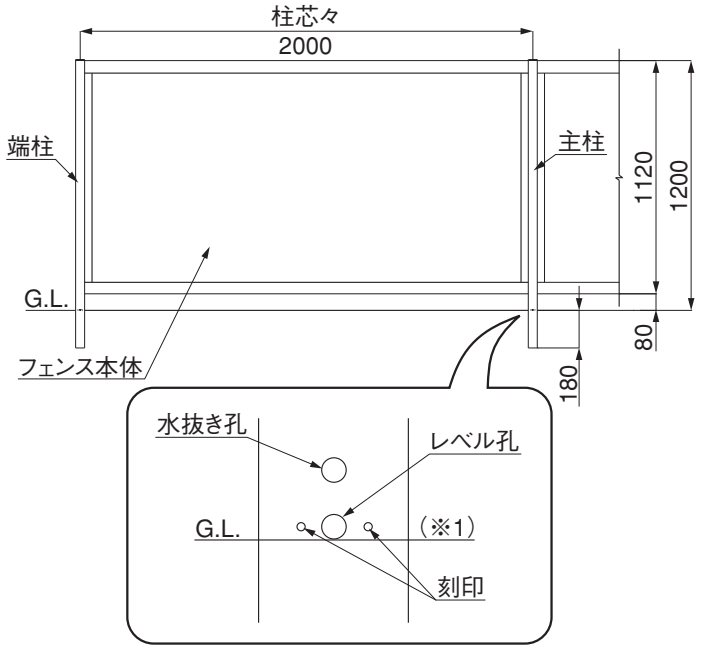
名　称	略　図	員数
上桟連結ジョイント角柱用		2
下桟連結ジョイント角柱用		2
柱キャップ		1
コーナージョイントキャップ右		1
コーナージョイントキャップ左		1
クッション材 ※		1
6-① φ4X10サラタッピンネジ1種 D=6		9
6-② φ4X10トラスタッピンネジ1種 D=8		8

1. 基本寸法図



ポイント

● 柱の施工は、基本寸法図どおりに正確に施工してください。フェンス本体が組付かなくなるおそれがあります。



注 意

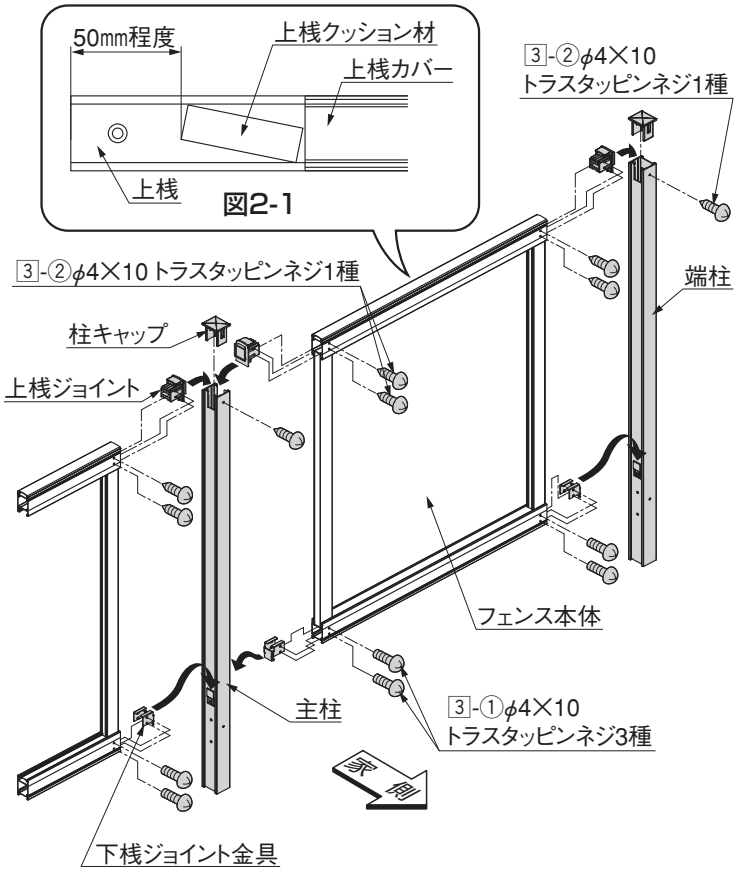
- 施工後・水抜き孔をシール等でふさがないでください。ふさいでしまうと柱の腐食や溜まった水が凍結して破裂するおそれがあります。

ポイント

- 柱施工時にはレベル孔とG.L.の位置関係を図（※1）のようにしてください。

2. 本体の取付け

2-1 ストレート部



注 意

- 柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。柱が腐食し強度低下の原因になります。
- 柱に取付けてあるモルタル防止金具や柱補強材を外さないでください。

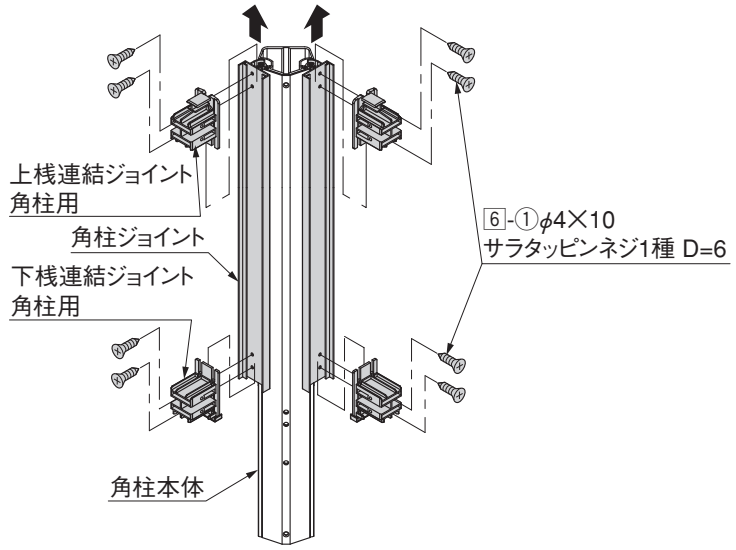
補 足

- 施工時に上桟カバーのガタつきが気になる場合は、上桟カバーと上桟の間にクッション材を上桟端部より50㎜程度の位置に貼ってください。（図2-1参照）

❶ フェンス本体に上桟ジョイントを3-②で、下桟ジョイント金具を3-①で取付けてください。
❷ 主柱および端柱に、❶の上桟ジョイントと下桟ジョイント金具を差込んでください。
❸ 柱キャップを主柱および端柱に3-②で取付けてください。

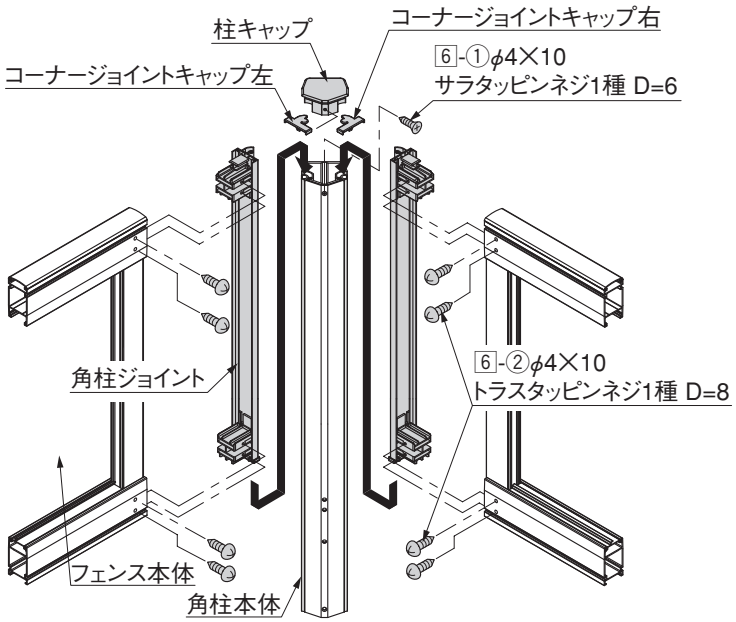
2. つづき

2-2 コーナー部



❶ 角柱ジョイントに上桟連結ジョイント角柱用と下桟連結ジョイント角柱用を6-①で取付けてください。

❷ 角柱ジョイントを上に引抜き、上桟連結ジョイント角柱用と下桟連結ジョイント角柱用をフェンス本体に差込み、6-②で取付けてください。



ポイント

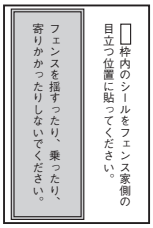
- 角柱ジョイントには左右がありますので、取付けに注意してください。

❸ ❷でフェンス本体に取付けた角柱ジョイントを、角柱本体に差込んでください。

❹ コーナージョイントキャップ右とコーナージョイントキャップ左を角柱ジョイントに差込んでください。

❺ 柱キャップを角柱に差込み、6-①で固定してください。

3. 注意シールの貼付け



❶ 必ず注意シールをフェンス本体または柱家側の目立つ位置に貼ってください。

注 意

- 注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

取説コード
C303

QLH576853C
200308A_1006
201607D_1049